

令和 4年度予算見積調書

課室名: 森づくり課

担当名: 森林活動支援・林業支援担当

内線: 4310

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B71	里山・平地林整備事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	里山・平地林整備事業費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	彩の国みどりの基金条例			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	6, 11, 15
	令和 5年度						分野施策	1001	みどりの保全と創出	SDGsターゲット
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>放置された里山・平地林を再生し、景観の向上や生物多様性の保全、森林病虫害の防除など、公益的機能の高度発揮を図るとともに、憩いの場を創造するなど、森林に関する意識の醸成を図る。</p> <p>(1) 里山平地林の再生 32,271千円 (2) 森林病虫害防除 6,500千円</p>				<p>(1) 事業内容 県民にとって身近な緑である里山・平地林において、手入れがされず放置された森林の整備・再生及び森林病虫害の防除を行う。 里山・平地林の再生 森林整備面積 32ha 32,271千円 森林病虫害防除 森林防除面積 5ha 6,500千円</p> <p>(2) 事業計画 里山・平地林の再生 平成28～令和5年度の8年間で738haの森林の再生 森林病虫害防除 令和4年度 5ha</p> <p>(3) 事業効果 里山・平地林を整備、再生すること及び、ナラ枯れ被害を受けた森林の防除を行うことにより、森林植生が回復し、生物多様性の保全などの森林の持つ多面的機能の高度発揮が図られる。 また、森林内の見通しが改善され、景観や環境の保全、地域の防犯、利用者や住民の安全性の向上が図られる。 憩いの場や自然体験の場としての活用が図られ、身近な緑や森林づくりの重要性について県民の理解が深まる。 年度別の整備面積 平成28年度 126ha、平成29年度 150ha、平成30年度 144ha、平成31年度 117ha、令和2年度 98ha、令和3年度 42ha(見込)、令和4年度 32ha(見込)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地域のボランティア団体や自治会、森林所有者との協力・連携により維持管理を行う。 職員による森づくり活動への技術・安全指導 市町村職員に対して、研修等を通じて森林病虫害の知識、防除技術の習得を支援する。</p>						
2 事業主体及び負担区分										
(1) (県定額)市町村等 (2) (国1/2・県1/4)市町村1/4										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×4人=38,000千円										
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比	
		国庫支出金	繰入金							
決定額	38,771	4,000	34,771					0	△5,905	
前年額	44,676		44,676					0		